

fact: book


HAMIRU



01

【会社概要】

- 会社紹介
- CEOの想い
- 事業領域

02

【HAMIRU × SDGs】

- SDGs宣言

03 - 06

【SDGs事例 高滝湖グランピングリゾート】

- 遊休土地の活用
- 施設紹介
- 市原市長コメント
- 廃校リノベーションのビフォー/アフター

【SDGs事例 多古町/Taco Glamp The Mexico】

07

【キャンプ業界とグランピング】

- キャンプブームからカルチャーへ

08

【施設一覧】

- (株)HAMIRU 東京ラスクグループ一覧

09

【メディア実績】

- テレビ / 新聞 / 雑誌

10

【今後のハイライト】

- 商品イメージ画像

11

【取材・お問い合わせ先】

会社紹介

株式会社HAMIRU(以下HAMIRU)は「旅を通して大切な人をもっと大切に思える時間」を創出することをミッションとし、関東を主にグランピング事業を中心に宿泊施設の開発及び運営を行っている会社です。日常の喧騒から離れ、時間がゆっくり流れる大自然の中でリラックスしたり、BBQを囲んで食事を共にしたり、都会では見られない満天の星を眺めることで、大切な人いつもより少しだけ距離が縮まると信じています。多くの方にくつろぎの空間と最高のおもてなしをこれからも日本各地に開拓し続けます。



HAMIRUは株式会社グランバー東京ラスクのグループ会社です。2019年06月の設立以来、遊休地などを活用したグランピング事業を4件、旅館、菓子店の運営しており、今後オンラインD2Cショップをオープン予定です。

CEOの想い



地球環境と未来の子どもたちを思いやりながら大切な人に安心と感動を。グランピングを通してサステナブルな新価値を産み続けることを目指します。

2022年から株式会社HAMIRUの代表取締役役に就任しました熊崎紗弥佳です。実は私、3人の子供の育児をしているママです！子どもの発想から常にヒントを得ながらお客様へのワクワク！や感動はもちろん『安心感を与えられる』を常に考え、施設を運営しています。

人間は旅をし日常生活から離れることで、生活に関わる様々な煩わしさから解放され、気楽さを感じる生き物だそうです。『感動を与える』『感動をもらえる』そんな事業を行っているのがHAMIRUです。

『感動を与える』を何十年も先まで続けるために地球環境や関わる全ての人を大切に事業運用は欠かせないと考えています。SDGsの話題化により「サステナブル？どうしたらいいかわからない」と焦りを感じている人も少なくありません。私たちは例えば「グランピングに行ったら実は廃校活用していた！気づいたら自分の選択はサステナブルに繋がっていた」という様な感動と驚き体験を創出し、誰もが好きなことをする時、無理をせずにサステナブルな選択ができる社会を目指していきたいと考えます。

事業領域

グランピングリゾートの開発 / 運営



旅館の運営



D2Cオンラインショップ



HAMIRU独自のSDGs宣言

お客さまに感動やワクワクを届け、大切な命をお預かりし、
無事にお帰りいただくことが大原則の宿泊業。

それを体現し、さらに何十年も先まで実現し続けるためには、持続可能な事業運用が不可欠です。支えてくださる地域の方々、社員、私たちの事業に関わる全ての人の幸せを大切にすることが必要であり、観光や食物資源である自然環境や文化を守ることが使命だと感じています。

HAMIRU独自で掲げているSDGs宣言では、SDGs17の目標のうち、15項目に該当する取り組みを積極的に行い、安心と感動に溢れる世の中の実現を目指しています。



SDGs宣言

株式会社HAMIRU

2022年4月1日

当社は、経営理念である「お客様の“心のおなか”をいっぱいにする仕事をします」「もう一度会いたい社員を育てます」「社員と社員の家族”を幸せにすることを一番に考えます」「地域と社会”に貢献します」に取り組むことで、地域の様々な課題の解決を目指しています。当社の事業を通じたSDGsの達成に向け、下記の取り組みを実施していくことを宣言します。

| | |
|---|--|
| <h3>新たな観光地の創生</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光地として何度も訪れたいくなる施設運営を目指します ・グランピングを通して地域活性化に取り組みます ・廃校など地元自治体の遊休地を積極的に活用します  | <h3>環境保全への取り組み</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のクリーン活動へ参加することで地域の美化に努めます ・スマートチェックインの活用などペーパーレス化を推進します ・従業員一丸となって再生可能な資源の使用を心がけます  |
| <h3>社員が活躍できる職場づくり</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・個人のアイデアを尊重し、チャレンジできる企業風土を継続します ・学び続ける社員を育成します ・多様な人材の活躍のために待遇や労働環境について適切に配慮します ・社員とその家族が豊かな生活を送れる職場を作ります  | <h3>地域社会への貢献</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を積極的に登用し、地域の雇用拡大に貢献します ・地元の食材等地域資源を利用した宿泊プランを作成し地産地消を心がけます ・地域住民や行政との会議を継続し、地域活性化に関する様々な取り組みを実践していきます  |



SDGsとは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」です。17の目標と169のターゲットから構成されており、2030年の達成に向けて国・企業・個人など様々なレベルでの取組が求められています。

遊休地の活用

HAMIRUは遊休地を活用したグランピング施設を2021年4月20日に開業しました。土地に新たな価値を生み出し、地域創生と密接した事業運営を大切にしています。

遊休地とは、企業や社会活動に長い間使用されていない土地のことです。

特に国内の地方都市では人口減少、少子高齢化、バブル崩壊による経済環境の変化や、産業構造やインターネットの普及によるライフスタイルの変化によって、戦後の復興期から高度成長期を支えた商店街や中心市街地は衰退し、多数の老朽ビル、中小倉庫、空き家、空き地等の遊休不動産が存在しています。社会構造の変化によって生じた遊休不動産は、民間不動産だけではなく廃校になった小学校や中学校を始めとする公有不動産にも多く存在し、公有財産の有効活用という点で深刻な問題となっています。



改装前の廃校となった旧高滝小学校

千葉県市原市の廃校がグランピングリゾートに変身



目指す効果は市原市への「宿泊型」観光入込客数の増加、地域資源の活用・地域雇用の拡大

平成25年に廃校となった旧高滝小学校を千葉県市原市より借り受け、グランピングリゾート2021年4月20日より開業しました。市の遊休資産となっていた小学校の校舎を管理棟や浴室としてリニューアルするとともに、校庭にはドームテントなど3種類のテントで24サイトを造成しており、高滝湖湖畔の自然を感じながら快適に過ごすことができるグランピング施設を整備しました。

施設はカリフォルニアテイストでリゾート感を感じることができます。食事付き宿泊プランを提供しており、地元市原市で採れた新鮮な野菜や千葉県産の食材を生かしたBBQをお楽しみいただけます。校舎内を改装し家庭科室はフロントへ、職員室や校長室、保健室などは浴室やトイレへと生まれ変わりました。



市原市・小出市長からのコメント



「すごく期待感でいっぱい。これからも連携して多くの皆さんが市原市を訪れるように、より広がりを見せられるようもっと前へと道を作っていきたい、まさに今日（高滝湖グランピングリゾートの開業）はそのスタート」

地域住民とパートナーシップで新しい価値を

旅をする時の醍醐味でもある「一期一会」。地域の方とお客様を「さりげなく」繋げ、心温まる非日常体験を届けると同時に、食や農業について学べる機会を創出

校舎裏の畑を収穫体験アクティビティとして地元農家さんに委託しています。



稲刈り体験の様子



廃校改装ならではの心躍る驚きのビフォーアフター



細部までこだわったデザインで廃校改装ならではの驚きと、ワクワク感。リノベーションによって地域に新しい需要を生み出し「住み続けられるまちづくり」の可能性を体現。

元職員室が貸切風呂に生まれ変わりました。キャンプをしながらご家族やお友達と温泉気分も味わえる貸切風呂を4室ご用意しています。



廃校改装ならではの心躍る驚きのビフォーアフター



廊下



体育館



理科室



図書室



体育館側面



校庭

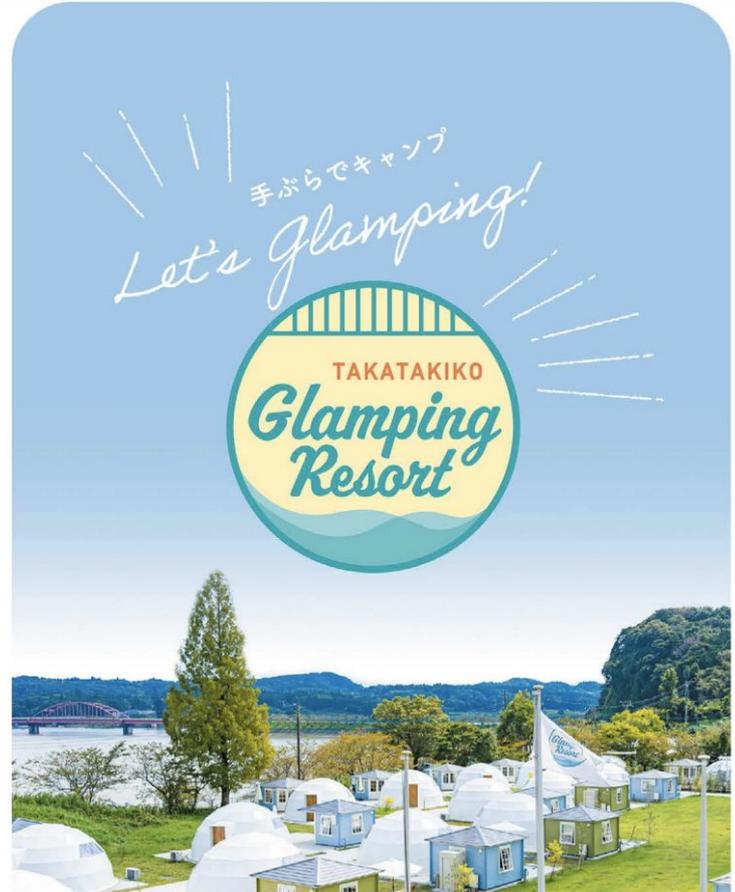
施設概要



当施設は、チェックイン、チェックアウト時の密な混雑を避けるためスマートチェックインを導入しております。



- 《お車でお越しの場合》
- 圏央道 [鶴舞 IC] 出口を左折〜約 8 分
 - 京葉道 [市原 IC] 出口を勝浦・大多喜方へ〜約 30 分
- 《電車でお越しの場合》
- JR 東京駅→JR 千葉駅→小湊鉄道 五井駅→小湊鉄道高滝駅で下車 徒歩 7 分



TENT SITE

どのテントに泊まる？

テントには 3 つのタイプがございます。全テント、大きなベッド、アメニティを設置。冷暖房完備で一年中快適に過ごせます。



ベルテント
キャンプ感を愉しみたい方におすすめ。コットメントは透湿性に優れ、夏は湿気を外に逃がし、冬は暖かい空気を外へ逃がさず快適に過ごせます。



ドームテント
6m の大きなドーム型テント。広々空間で快適にお過ごしいただけます。



クリアドームテント
180 度透明なドーム型テントです。星空を眺めながらのテント泊。自然との一体感を生み出します。

WITH PET

ペットも一緒に泊まれるベルテント、ドームテントをご用意しています。ペットサイトの周りには柵を設置しておりますので安心です。施設内にはドッグランもございます。



BBQ STYLE

各サイト専用デッキには BBQ スペースやハンモックを設置しています。夕食・朝食ともにプライベート空間でお食事を楽しめます ※メニューは季節などにより変更する場合がございます。



高滝湖グランピングリゾートは、旧高滝小学校をリノベーションしたグランピング施設です。小学校の面影を残しつつ、カリフォルニアリゾート空間に生まれ変わりました。高滝湖を眺めながら、非日常をお楽しみください。



UTILITIES

お子さま用遊具エリア

CAMP FIRE

毎夜 19:00-21:30 (雨天・強風時中止) スモアや手持ち花火などがご利用頂けます。



多古町の廃校が千葉県最大のグランピングリゾートへ

2023年3月7日グランドオープンしました:
人口減少に悩まされる千葉県多古町をグランピングリゾートで元気に。廃校を有効活用し、サステナブル運営を通じて、長く愛されるリゾートを目指します。



新しい挑戦として、千葉県香取郡多古町の廃校(旧常磐小学校)をリノベーションし、千葉県最大級のリゾート施設「TACO GLAMP THE MEXICO」を2023年3月7日にグランドオープンしました。HAMIRU一社だけではなく、地域のひと、訪れるひと、応援してくれるひと、みんなで作り上げることでより多くの人に愛される場所にしたいという想いから、多古町の地域の方々を巻き込んだオープニングイベントを開催しました。オープニングイベントには約1000人の人が県内外から集まりました。



地域課題をリゾートで解決する新たな挑戦



千葉県香取郡多古町は、成田空港から車で約30分の範囲に位置し、交通環境が充実しています。豊かな自然に恵まれ、米の作付け面積当たりの収穫量が日本1位であり、多古町を流れる栗山川沿いには、あじさい遊歩道が整備され、6月になると1万株以上のあじさいが咲き誇ります。また、様々な子育て支援策が充実し、『田舎暮らしの本』2022年2月号(出版:宝島社)に掲載の『2022年版 第10回住みたい田舎ベストランキング』において住みたい田舎ベストランキング(首都圏エリア)で3位になった注目の町です。

一方で多古町はまだ知名度が低く、人口は約2.2万人だった1950年から減り続け2022年調べでは約1.3万人に。少子化も進み、過去20年で合計3校が廃校になりました。HAMIRUは「TACO GLAMP THE MEXICO」をきっかけとし、多古町に「宿泊型」観光入込客数の増加、地域資源の活用・地域雇などの新しい需要を生み出します。また、地元に住む方が自信を持って「TACO GLAMPがある多古町だ」と言えること、そしておとずれる人は何度も足を運びたくなる、思い出に残る空間作りを目指します。

廃校改装ならではの心躍る驚きのビフォーアフター



旧教員玄関



フロント



旧プール



ナイトプール・サウナ



旧1,2年教室



シャワー室

廃校改装ならではの心躍る驚きのビフォーアフター



旧放送室



カラオケルーム



旧体育館



新体育館 (プレイルーム)



旧校長室



貸切風呂

「第二次キャンプブーム」を超えて「カルチャー」へ 国民的趣味となった「キャンプ」多様化の先

第一キャンプブーム

第一次キャンプブームは、1990年代で、キャンプ人口が最大1580万人まで上がったと言われていいます。



1990年にキャンプブームが巻き起こった背景には、バブル景気があります。人々が経済的に豊かになり、車が一家に一台持てるようになりました。休日に車で出かけることがレジャーの中心になり、家族や友達と一緒に気軽に自然で過ごせるキャンプが人気になりました。また、コールマンなどの大型海外アウトドアブランドも上陸し、キャンプによりアクセスしやすい環境が整ったのも一つの要因です。

第二キャンプブームは2010年代前半から始まったと言われていいます。日本オートキャンプ協会が発行する「オートキャンプ白書2020」によると、オートキャンプ人口は7年連続で増加しています。多くの要因がありますが、第二キャンプブームが起きた要因としては、インフラやキャンプ用品の普及により、キャンプへのハードルが下がったことに加え、2020年以降、新型コロナウイルスの影響により、密を避けるアクティビティーに注目があつまり、自然の中で過ごすキャンプが人気になりました。

第二キャンプブーム



新ジャンル:グランピング

昔からキャンプは大自然の中で不自由を楽しむものとしてのイメージが強くありました。しかし、現在においては、キャンプの楽しみ方は多岐にわたり、さまざまなスタイルが存在します。昔と変わらず、最低限の荷物と道具で、サバイバル感覚で非日常を楽しむ人もいれば、一方で、家族や仲間と自然の中でのんびりする時間を大切にしたり、最新の道具にこだわるギア愛好家、自分自身に向き合うソロキャンパーなど、それぞれ自分に合ったスタイルで楽しめるのがキャンプの魅力でもあります。

そんな多様化するキャンプの、**新たな宿泊カテゴリーとして登場したのが『グランピング』**です。グランピングは、英語の「glamorous」(豪華)と「camping」(キャンプ)を組み合わせた造語です。最近ではグランピング専用の予約サイトができるなど市場は拡大しており、船井総合研究所の調べでは、今年だけでも200以上のグランピング施設が開業する予定で、業界は市場規模が「2022年には1000億円に達する」としています。

食事やテントがあらかじめ用意され、時には有名なブランドのベッドや家具も装備されているにもかかわらず、野外でのBBQやアウトドア気分を味わえるグランピングは、豪華なホテルステイや、従来のキャンプと比較することが難しいほど、新感覚の体験として捉えられることが多いです。特に、ペットと同伴できる施設や、見た目がおしゃれでSNSに投稿したくなるような非日常の雰囲気人が人気を集めています。

また、2022年以降はコロナ禍からの回復が見込まれるため、インバウンド解禁の流れが続くと想定されます。同時に歴史的な円安となっているため、外国人の立場からすると日本全体が割安に感じており、インバウンドマーケットの拡大が見込まれます。「もの消費」から「こと消費」にシフトしているインバウンド需要でも、気軽に自然の中で過ごせるグランピングが注目されています。

株式会社HAMIRU 東京ラスクグループ

株式会社HAMIRUは株式会社グランバー東京ラスクのグループ会社です。
また、HAMIRUリゾートはグループが展開するリゾート事業の総称です。
グループ全体ではグランピングリゾート運営の他、旅館そして飲食店を運営しています。



那須高原で極上のグランピング体験

那須ハミルの森

栃木県那須高原

<https://www.hamirunomori.com/>



天然温泉と満天の星空グランピング

UFUFU VILLAGE

伊豆月ヶ瀬

<https://ufufu-village.jp/>



富士山とジャグジー付きのグランピング

天空テラス

西伊豆

<https://www.tenkuu-terrace.jp/>



廃校×リノベーションのグランピング施設

高滝湖グランピングリゾート

千葉県市原市

<https://www.takatakiko-glamping.com/>



趣の異なる7室は
全室源泉掛け流し露天風呂を完備

月ヶ瀬温泉 雲風々

伊豆市月ヶ瀬

<https://ufufu.co.jp/>



富士山を一望できる客室露天風呂付き

雲と風と

西伊豆

<https://www.kumotokazeto.com/>



ラスク&ジェラートビュッフェのお店

那須ラスクテラス

栃木県那須高原

<https://nasu-rusk.com/>

【テレビ】

◆2022年06月30日放送

静岡第一テレビまるごと / みやぞんch



◆2022年9月3日放送

フジテレビ「サスティな！」



◆その他



【新聞】



日本経済新聞

【雑誌 / WEBメディア】



【大洗新施設オープン2023年秋】



2023年秋に茨城県大洗に新施設をオープン予定です。遊休地の活用や地域人材の積極採用を通して地域に還元すると共に、新たな観光地として何度も訪れたい施設運営を目指します。



【日光新施設オープン2024年春】



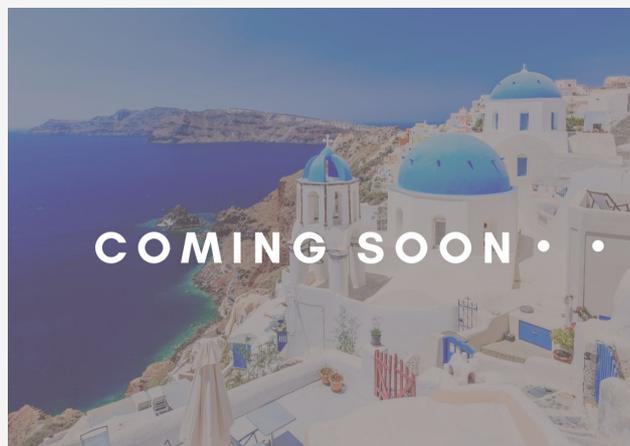
2024年春に栃木県日光市に新施設をオープン予定です。観光地としても人気の日光市で「ビジネス以上旅館未満」をコンセプトに廃旅館を利用した新しい施設でより多くの人に癒しとおもてなしの時間を提供いたします。



【勝浦新施設オープン2024年秋】



2024年秋に千葉県勝浦市に新施設をオープン予定です。廃校となった清海小学校を利用し目の前に広がる鵜原海岸の魅力をお伝えするアクティビティを提供することで集客を図り、地域貢献を目指します。





株式会社HAMIRU
広報担当: 山本

- ・MAIL : h.yamamoto@hamiru.jp
- ・TEL : 080-4145-2010
- ・HP : <https://www.hamiruplanning.com/>